

		研修名	対象	目標	主な内容
看護師 リーダー 教育	レベルⅠ	新採用看護師研修	卒後1年目	職場に早期適応でき、看護実践に必要な基本的能力を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・新採用者オリエンテーション ・看護技術演習：移動、導尿、膀胱留置カテーテル、採血、吸引、感染対策、フィジカルアセスメント ・重症度、医療・看護必要度 ・医療安全 ・BLS ・リフレクション
		静脈注射研修	卒後1年目または静脈注射に関する研修を受講したことがない看護師	静脈注射に必要な知識を備え、基本的な実践能力を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・静脈注射に関連した関係法規、薬剤 ・リスクマネジメント ・輸血 ・輸液ポンプ、シリンジポンプの準備と管理 ・演習：留置針を用いた点滴静脈注射
	レベルⅡ	看護過程研修	レベルⅠ認定者	看護チーム内で役割を遂行しながら、根拠に基づいた看護を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・看護過程の展開
	レベルⅢ	ケーススタディ研修	レベルⅡ認定者	自己の看護実践の意味づけを行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ
	レベルⅣ	リーダーシップ研修	レベルⅢ認定者	チームリーダーとしての役割行動がとれる	<ul style="list-style-type: none"> ・看護チームの中のリーダー
		実習指導者研修	レベルⅢ認定者かつリーダーシップ研修修了者	看護実習生の学習を支援するために必要な知識や技術が理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導の基本と実習指導者の役割 ・実習の指導計画・指導案の作成
	レベルⅤ	看護管理研修	レベルⅣ認定者かつ看護師長の推薦がある者	専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり、自部署の看護サービス向上への取り組みができる	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理を学ぶ意義 ・看護サービスとマネジメント ・組織の成り立ちと運営 ・リーダーシップと組織変革 ・看護管理プロセス ・看護サービスと経営 ・組織目標と人材育成 ・情報管理と看護の質 ・看護管理とコミュニケーション ・専門職として必要な自己管理 ・多職種協働におけるマネジメント ・看護の質評価 ・安全管理の動向と医療安全管理体制 ・働きやすい職場環境づくり ・保健医療福祉サービスの提供体制 ・看護管理における倫理 ・国立ハンセン病療養所、国立高度専門医療センター及び国立病院機構の運営
病院経営研修		レベルⅣ認定者かつ看護管理研修修了者	専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり、研究的に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の現状把握(SWOT分析) ・経営におけるデータ・文献の活用 	